

NSG

GROUP



NSG グループ

2017年3月期第2四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年9月30日)

日本板硝子株式会社
2016年10月28日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

NSGグループ 2017年3月期・第2四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。

CFOの諸岡です。

本日の説明会には、私とCEOの森、そしてCOOのクレメンス・ミラーが同席しております。

私の方から、本日発表しました第2四半期決算の概要について説明いたします。

2017年3月期第2四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年9月30日)



目次

要点
決算概要
事業状況
業績予想・まとめ

4ページは、本日の決算報告の内容となります。

私の方から、この目次に沿って、今回の決算の概要について説明させていただきます。

要点：2016年4月－2016年9月



- 2017年3月期第2四半期の営業利益は、為替換算の影響を受けるも、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは大きく改善
- 高付加価値品の販売数量が増加するなど、事業改善のための施策は着実に進捗

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

5

5ページをご覧ください。業績の概要ですが、
営業利益は、高付加価値品の売上の増加、エネルギーコストの減少、そして生産性の改善などにより、前年から大きく改善しました。

キャッシュ・フローは、利益の増加と有形固定資産の売却により、改善しました。

建築用ガラス事業の欧州と北米で高付加価値品が増加するなど、事業改善のための施策は順調に進捗しております。

2017年3月期第2四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年9月30日)



目次

要点

決算概要

事業状況

業績予想・まとめ

連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-9月期	17年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,217	2,898	-10% ²
無形資産償却前営業利益	101	157	55% ³
償却費 ¹	(40)	(22)	
営業利益	61	135	
個別開示項目	(15)	64	
金融費用(純額)	(88)	(93)	
持分法による投資損益	(5)	3	
税引前利益/(損失)	(47)	109	
当期利益/(損失)	(16)	51	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(27)	42	
EBITDA	271	300	11%

¹ ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

² 為替変動を除くと、4%増

³ 為替変動を除くと、92%増

為替換算の影響を受けるも、業績改善

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

7

7ページは、連結損益計算書になります。

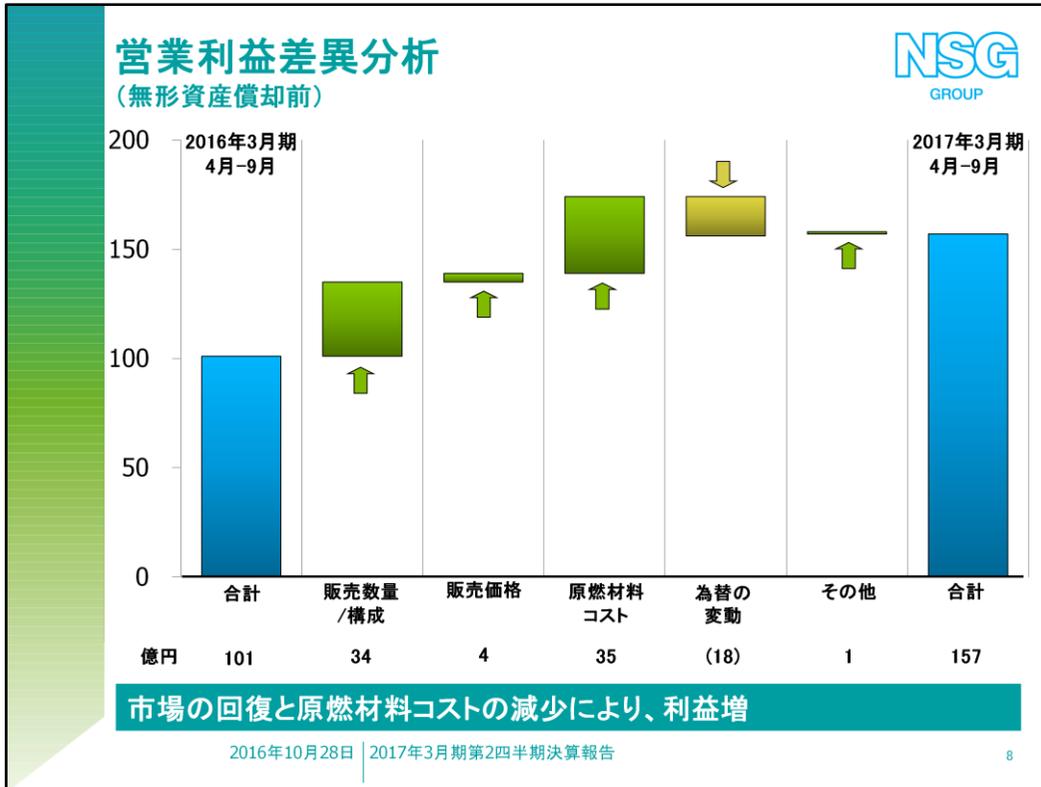
売上高は2,898億円となり、前年比で10%の減少となりました。為替変動の影響を除くと、前年比4%の増加となります。

無形資産償却前営業利益は157億円で、前年から56億円の増加となりました。為替変動の影響を除くと、前年の約2倍の水準になります。

高付加価値品の売上の増加、エネルギーコストの減少、そして生産性の改善が利益の増加に寄与しました。

個別開示項目では、64億円の利益を計上しています。セール・アンド・リースバック取引の実施による利益や関連会社に対する投資の売却益などを計上しています。

持分法による投資損益は前年から改善しました。



8ページへ移ります。ここでは、無形資産償却前営業利益について、前年との差異について説明しています。

「販売数量/構成」ですが、主に欧州と北米の自動車用ガラス事業における数量増加の影響を反映しています。

「販売価格」では、欧州と北米の建築用ガラス事業で改善しています。

「原燃材料コスト」では、エネルギーコストが下がりました。

「為替の変動」ですが、ここでは為替の変動が当社の利益に及ぼした影響を示しています。(注:このグラフでは、前年の利益を当期の為替レートで換算しなおした時の影響を示しています。)

個別開示項目

(億円)	16年3月期 4月-9月期	17年3月期 4月-9月期
有形固定資産等の売却による利益	-	79
事業撤退による利益	-	9
関連会社に対する投資の売却による利益	-	7
関連会社に対する持分変動益	1	-
リストラクチャリング費用	(11)	(16)
有形固定資産等の減損損失	-	(13)
係争案件の解決に係る費用	(4)	(2)
その他	(1)	-
	(15)	64

有形固定資産の売却益を計上

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

9

それでは9ページへ移ります。ここでは、個別開示項目の内訳をご確認いただけます。

この半年で、64億円の利益を計上しています。

第1四半期にセールス・アンド・リースバック取引などによって利益を計上する一方、第2四半期では欧州で発生したリストラクチャリング費用などを計上しています。

連結キャッシュ・フロー



(億円)	16年3月期	17年3月期
	4月-9月期	4月-9月期
当期利益/(損失)	(16)	51
減価償却費	210	165
減損損失	-	13
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(1)	(98)
法人所得税支払額	(18)	(25)
その他	(95)	(2)
営業活動によるキャッシュ・フロー (運転資本の増減考慮前)	80	104
運転資本の増減	(110)	(43)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(30)	61
有形固定資産の取得	(170)	(120)
資産売却収入	3	109
その他	(8)	(8)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(175)	(19)
フリー・キャッシュ・フロー	(205)	42

キャッシュ・フローは大きく改善

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

10

10ページはキャッシュ・フローになります。

営業利益の改善と沿うかたちで、キャッシュ・フローが改善していることをご確認いただけます。

赤い箱で囲った箇所になりますが、フリー・キャッシュ・フローは、運転資本増加の影響を受けながらも、増益と資産売却によるキャッシュ増の効果もあり、前年から大きく改善しています。

主要財務指標(KPI)



	2016年3月末	2016年9月末
ネット借入(億円)	3,810	3,661
ネット借入/EBITDA	6.3x	5.8x
ネット借入/純資産比率	3.4	6.1
	<u>16年3月期</u>	<u>17年3月期</u>
	<u>4月-9月期</u>	<u>4月-9月期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.4x	3.4x
営業利益率*	3.2%	5.4%

* 無形資産償却前営業利益

ROSなどのP/L指標は改善、純資産は円高の影響を受ける

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

11

11ページは、主要財務KPIの一覧です。

「ネット借入」は、為替換算の影響とキャッシュ・フローの改善により、約150億円減少しています。

「営業利益率」は、利益の増加に沿って改善しています。

2017年3月期第2四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年9月30日)



目次

要点

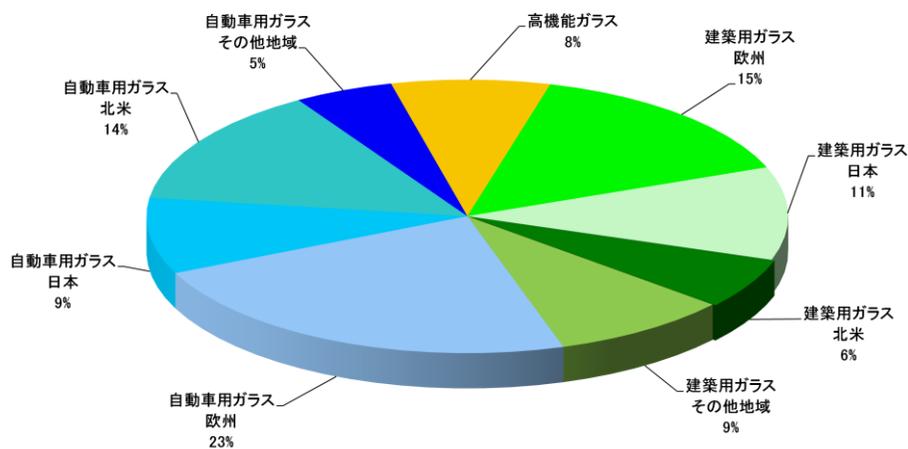
決算概要

事業状況

業績予想・まとめ

事業別売上高

2,898億円



2017年3月期 第2四半期
(2016年4月 - 2016年9月)

グローバルに事業展開

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

13

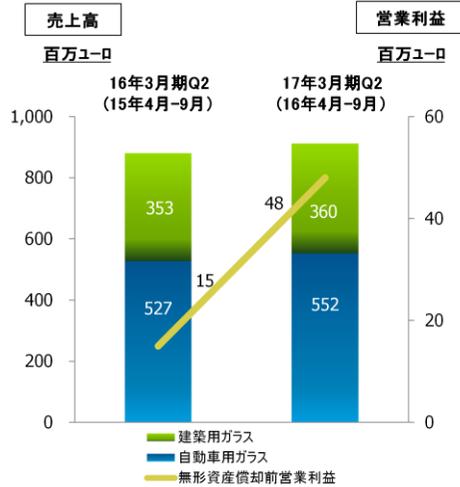
13ページへ移ります。

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高の構成比を示しています。

(注: 当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が39%、日本が24%、北米が21%、その他が16%となっています。)

欧州

2016年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 需要の増加により、数量と価格が改善
- エネルギーコストの減少が利益に寄与

自動車用ガラス事業

- 新車用ガラス(OE)は、乗用車販売台数増加の影響を享受
- 生産性が改善
- 補修用ガラス(AGR)の数量は堅調

市場の改善による影響を享受

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

14

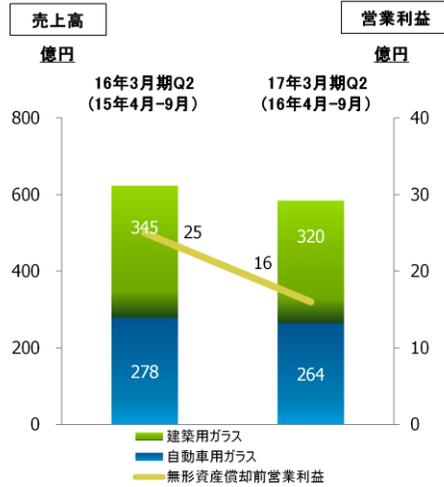
14ページへ移ります。ここでは欧州における当社グループの建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の業績についてご覧いただけます。

建築用ガラス事業では、市場における需要の増加により、数量と価格の改善が見られました。また、エネルギーコストの減少が利益に寄与しました。

自動車用ガラス事業では、乗用車販売台数の回復に沿うかたちで当社グループの数量が増加しています。また、生産性の改善が利益に寄与しました。

欧州は現地通貨ベースで増収増益となりました。

日本 2016年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 商業用の市場は低調に推移
- 販売数量は前年より減少

自動車用ガラス事業

- 足踏みする消費者マインドの影響を受け、わずかに減収減益

軟調な市場の影響を受け、減収減益

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

15

15ページは日本です。

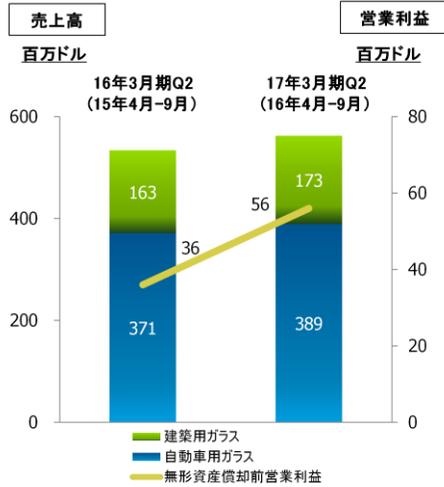
当社の建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業のいずれも、軟化した市場の影響を受けています。

建築用ガラス市場では、商業分野が低調に推移しています。

自動車用ガラス市場は、足踏みする消費者マインドの影響を受けています。

北米

2016年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 価格が堅調に推移し、増収増益
- 高付加価値品の数量が増加

自動車用ガラス事業

- 新車用ガラス(OE)では、当社の数量が増加しており、増収増益
- 生産性が改善
- 補修用ガラス(AGR)の業績は、前年同期並みの水準で推移

市場は好調を維持しており、利益増

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

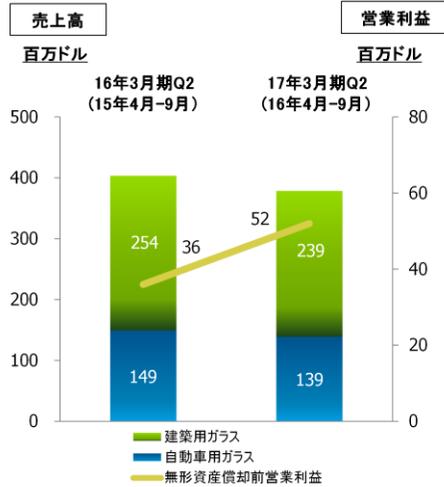
16

16ページの北米へ移ります。

建築用ガラス事業は、堅調な需要に支えられた価格の上昇や高付加価値品の数量の増加により、増収増益となりました。

自動車用ガラス事業は、数量の増加により増収増益となりました。

その他地域 2016年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 前年は、アルゼンチンのフロート窯定修によるマイナス影響を含む
- 東南アジアの需要は堅調

自動車用ガラス事業

- 南米では低調な市場の状況が継続

好調な地域と低調な地域が混在

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

17

17ページは、その他の地域です。

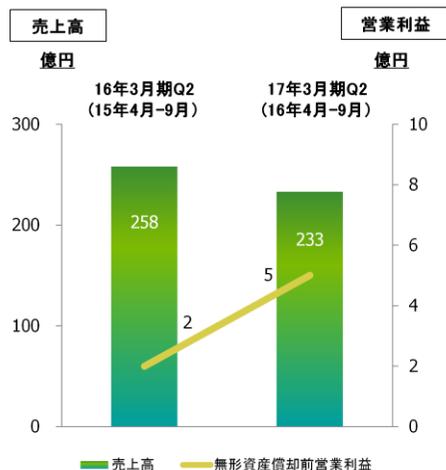
建築用ガラス事業ですが、南米は厳しい経済情勢のなか利益が改善しています。

東南アジアは、引き続き堅調な需要の影響を享受しています。

南米の自動車用ガラス市場ですが、乗用車販売台数が前年より減少しており、低調に推移しています。当社グループの業績は、その影響を受けています。

全般として、建築用ガラス事業が牽引し、その他地域も前年より利益が改善しています。

高機能ガラス事業 2016年3月期第2四半期との比較



高機能ガラス事業

- ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の休止により、ディスプレイの赤字は縮小
- プリンター用レンズの売上は減少
- 堅調な自動車市場を背景に、グラスコードの数量は増加
- バッテリーセパレーターの需要は堅調

ディスプレイは、薄板ガラス用フロート窯の休止により赤字縮小

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

18

18ページの高機能ガラス事業へ移ります。

高機能ガラス事業の利益は、前年からわずかに改善しました。

ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の休止により、ディスプレイの赤字が縮小したものの、市場の軟化によりプリンター用レンズの売上が減少しました。

グラスコードとバッテリーセパレーターの需要は、いずれも堅調に推移しています。

持分法適用会社 2016年3月期第2四半期との比較



(億円)	16年3月期 4月-9月期	17年3月期 4月-9月期
持分法による投資損益	(5)	3

- セブラセ(ブラジルのジョイント・ベンチャー)の業績は前年同期から悪化
- 2016年3月期において減損損失を計上した結果、中国とロシアのジョイント・ベンチャーが赤字であっても当期損益に影響しない

前期の減損損失計上により、赤字会社の影響を回避

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

19

19ページは持分法適用会社になります。

持分法による投資損益は、前年からわずかに改善しました。

ブラジルのジョイント・ベンチャーであるセブラセの業績は前年を下回っています。

その一方で、中国とロシアのジョイント・ベンチャーに対する投資について、2016年3月期にて減損損失を計上した結果、これらのジョイント・ベンチャーが赤字であっても、当期損益には影響がありません。

2017年3月期第2四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年9月30日)



目次

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 業績予想・まとめ

2017年3月期連結業績予想



(億円)	当初予想	今回 修正予想
売上高	6,200	5,700
営業利益	310	310
税引前利益	150	150
当期利益	70	70
親会社の所有者に帰属する当期利益	50	50

為替換算の影響を考慮し、売上高の予想を修正

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

21

21ページをご覧ください。ここで、2017年3月期の連結業績予想の修正について、説明させていただきます。

売上高の業績予想ですが、円高に伴う為替換算によるマイナス影響を考慮して、当初予想値から下方修正しております。

しかしながら営業利益以下の各項目では、当社グループの各事業の業績が想定を上回る水準で推移することを見込んでいるため、当初予想値から変更はありません。

- 2017年3月期第2四半期の営業利益とキャッシュ・フローは、前年同期から大きく改善
- 高付加価値品の販売数量が増加するなど、事業改善のための施策は着実に進捗
- 2017年3月期の通期業績見通しは、為替換算の影響を考慮し、売上高の予想を修正

22ページに移ります。

営業利益は、高付加価値品の売上の増加、エネルギーコストの減少、そして生産性の改善などにより、前年から大きく改善しました。また、前年度末に決定した不採算事業からの撤退等による効果も出てきています。

キャッシュ・フローは、利益の増加により改善しています。

事業改善のための施策は順調に進捗しております。

2017年3月期の通期業績見通しですが、売上高のみ為替換算の影響を考慮し、修正しています。その一方で、各利益については、業績の改善が円高による業績へのマイナス影響を相殺すると見込んでおり、変更しておりません。

以上、ご清聴ありがとうございました。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

2016年3月期第2四半期との比較



(億円)	16年3月期 4月-9月期	17年3月期 4月-9月期	増減
建築用ガラス	1,331	1,184	(147)
欧州	477	428	(49)
日本	345	320	(25)
北米	199	183	(16)
その他の地域	310	253	(57)
自動車用ガラス	1,624	1,479	(145)
欧州	712	657	(55)
日本	278	264	(14)
北米	453	412	(41)
その他の地域	181	146	(35)
高機能ガラス	258	233	(25)
欧州	41	35	(6)
日本	114	120	6
北米	6	5	(1)
その他の地域	97	73	(24)
その他	4	2	(2)
欧州	1	0	(1)
日本	3	2	(1)
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
合計	3,217	2,898	(319)

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

25

償却前営業利益*

2016年3月期第2四半期との比較

(億円)	16年3月期 4月-9月期	17年3月期 4月-9月期	増減
事業別			
建築用ガラス	91	134	43
自動車用ガラス	41	53	12
高機能ガラス	2	5	3
その他	(33)	(35)	(2)
合計	101	157	56
地域別			
欧州	21	49	28
日本	1	(4)	(5)
北米	42	57	15
その他の地域	37	55	18
合計	101	157	56

*: 無形資産償却前営業利益

連結貸借対照表

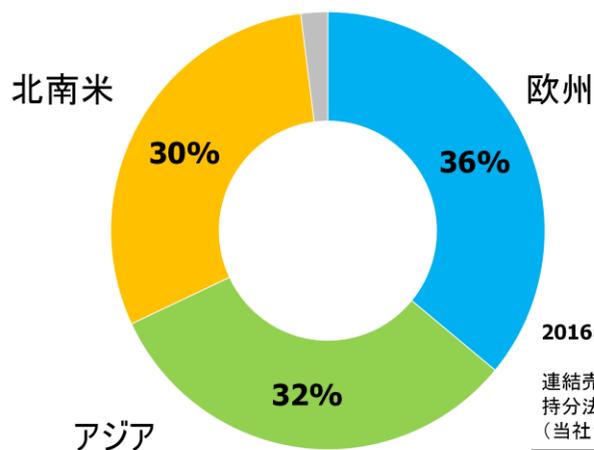
(億円)	2016年3月末	2016年9月末	増減
資産	8,121	7,090	(1,031)
非流動資産	5,714	4,893	(821)
のれん・無形資産	1,764	1,496	(268)
有形固定資産	2,589	2,305	(284)
その他	1,361	1,092	(269)
流動資産	2,407	2,197	(210)
現金及び現金同等物	551	491	(60)
その他	1,856	1,706	(150)
負債	7,001	6,488	(513)
流動負債	2,859	2,274	(585)
金融負債	1,435	1,030	(405)
その他	1,424	1,244	(180)
非流動負債	4,142	4,214	72
金融負債	2,934	3,144	210
その他	1,208	1,070	(138)
資本	1,120	602	(518)
親会社の所有に帰属する持分	1,031	519	(512)
非支配持分	89	83	(6)
負債及び資本	8,121	7,090	(1,031)

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

為替レート

	<u>16年3月期</u> <u>4月-9月期</u>	<u>16年3月期</u>	<u>17年3月期</u> <u>4月-9月期</u>
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	188	181	145
円/米ドル	122	120	106
円/ユーロ	135	132	119
期末為替レート:			
円/英ポンド	182	161	130
円/米ドル	121	113	101
円/ユーロ	135	127	112

(参考)2016年3月期 グループ売上高 地域別ビジネスウェイト



2016年3月期

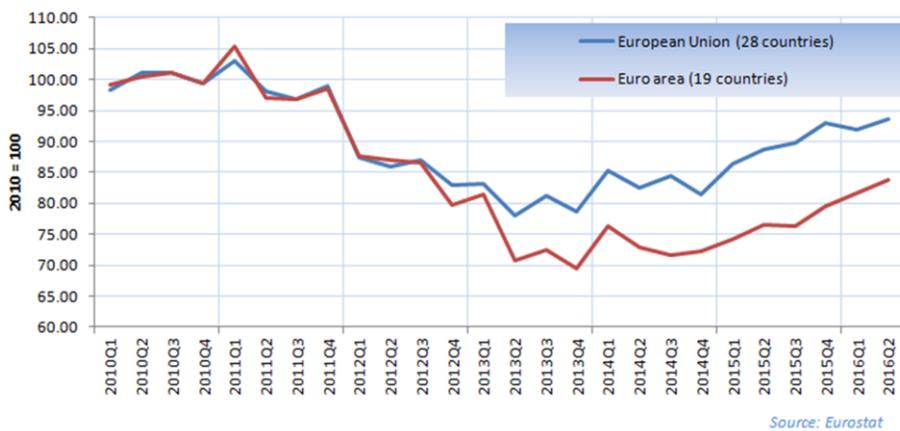
連結売上高:	6,292億円
持分法適用会社売上高 (当社シェア分)	475億円
合計	6,767億円

当社グループは世界各地でビジネスを展開

2016年10月28日 | 2017年3月期第2四半期決算報告

29

欧州住宅建設許可指数



NSG
GROUP